

ありば

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

VOL. 27
2014



表紙 / 「無題」 脇田英治さんの作品

「子ども美術教室・ピカソ」に通う脇田英治さん(18歳)。美術教室に通い始めて8年。月に1回の教室を楽しみに通い、大胆かつ伸びやかにキャンパスへ筆を走らせる。「ピカソ」は障害のある子どものための美術教室。鹿児島市と南さつま市に教室があり、絵画や陶芸、造形など、個性と感性を生かした自由な表現活動を行っている。代表は宗紘一郎さん。



CONTENTS

【特集】

平成25年4月から
障害者優先調達推進法が
施行されました

PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント

障害福祉サービス事業所
セルプあいら

PAGE 3

ありば通心

社会福祉法人 太陽会
しょうぶ学園

PAGE 4

ハードルを越えて

松下 佳生さん

PAGE 5

バリアフリー最前線

平川動物公園

心の輪を広げる障害者理解促進事業

PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ

・平成26年4月からペースメーカーや人工関節等を入れた方に対する身体障害者手帳の認定基準が変わります

